

要 旨

試験委託者

環境省

表 題

m-キシレンのヒメダカ (*Oryzias latipes*) に対する急性毒性試験

試験番号

A 0 0 0 4 7 1 - 4 G

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No. 203「魚類毒性試験」(1992年)に準拠して実施した。

- 1) 被験物質： m-キシレン
- 2) 暴露方式： 半止水式 (24時間毎に試験液の全量を交換) , 水面をテフロンシートで被覆
- 3) 供試生物： ヒメダカ (*Oryzias latipes*)
- 4) 暴露期間： 96時間
- 5) 試験濃度 (設定値) : 対照区, 助剤対照区, 2.50, 4.40, 7.90, 14.0, 25.0mg/L
公比 : 約1.8
最高助剤濃度 : 100 mg/L (HCO-40, ジメチルホルムアミド 使用)
- 6) 試験液量 : 5.0L/容器
- 7) 連数 : 1 容器/試験区
- 8) 供試生物数 : 10尾/試験区
- 9) 試験温度 : 24±1℃
- 10) 照明 : 室内光, 16時間明/8時間暗
- 11) 分析法 : 高速液体クロマトグラフィー (HPLC)

結 果

- 1) 試験液中の被験物質濃度 : 試験液の分析の結果, 測定値の設定値に対する割合が全て ±20%以内であったため, 結果の算出には設定値を用いた。
- 2) 96時間の半数致死濃度 (LC50) : 18.7 mg/L (95%信頼区間 : 14.0mg/L~25.0mg/L)